

一般質問要旨

平成十六年六月定例会の一般質問は、六月十五日、十六日、十七日の三日間にわたって行われ、十五人の議員が質問を繰り広げました。紙面の都合により、その一部をお知らせします。



6月定例議会会場風景

市町村合併

市町村合併に対する現在の市長の見解は

答弁 新しい動きがあった際には積極的に対処する

問

任意の合併問題協議会が解散された後、本市を取り巻く状況は大きく変わった。市町村合併について改めて市長が積極的にアクションを起こすことこそ、民意にこたえるものと考えますが、現時点での市長の見解は。

答

合併に対する私の基本的な考え方は、今後の地方公共団体の運営に大きな影響を与える課題であり、広域的な行政の推進、合併問題は避けて通れない課題であると認識している。同時に、合併が市民に理解され、かつ

問

市民サービスの向上につながる面もなければならぬと考える。宇治市民にとって合併を考えた場合、中核市への移行が想定される。中核市になると、行政サービスの効率化を図れる等のメリットがあるとされている。合併は将来の地域づくり、まちづくりの有効な手段として継続した議論が必要であるとされており、今後の状況を見定めて、新しい動きがあった場合には、これまでの協議を踏まえて、積極的に対処していく必要があると考える。

福祉、環境に配慮した入札方式の導入を

答弁 入札・契約制度改革の課題として調査、研究する

入札

問

自治体が発注する公共事業について、請負契約額が安いだけで判断せず、障害者の就労率、ISO14001認証取得などの項目を点数にして、総合点数が高い請負業者と契約を結ぶ総合評価一般競争入札を導入しては

答

総合評価一般競争入札方式を採用する場合、あらかじめ価格その他の条件が当該地方公共団体にとって最も有利なものを決定するための落札者決定基準を定めておくことが求められる。また、落札決定基準を定める場合、あらかじめ学識経験を有する者の意見を聞かなければならないことなども地方自治法に規定されている。大阪府では、障害者の雇用促進を中心とした行政の福祉化の推進や環境保護など、契約を通じた府政の重要施策の推進という目的をあわせ持つ観点で、総合評価一般競争入札に取り組みされているとのことである。今後の多様な入札契約方法を考え、いく上で大参考になるものであり、入札・契約制度改革の課題として詳細に調査、研究していきたい。

問

条例制定に際し、男女平等の理念の明記、相談窓口の設置、事業者の責務、DV(ドメスティック・バイオレンス) 夫や恋人等からの暴力への対応策、行動計画に基づく施策の実施状況の公表や、母性の保護と健康増進等を求めるが市の見解は。

答

男女平等の理念については本市の男女共同参画の推進にふさわしい表現を検討したい。相談窓口の必要性及び雇用の場での男女差別の解消については十分理解している。DVについては、

男女共同参画

男女平等条例の制定に向けて市の見解は

答弁 男女共同参画の推進に向け鋭意取り組む

問

昨年四月男女共同参画支援センターのオープンを機にDV対策ネットワーク会議の設置など対策の充実を図ったところである。緊急時については、京都府婦人相談所や近隣の民間シェルターとの連携のもと、被害女性の一時保護や自立支援に努めてきた。民間シェルターへの助成についても先進市の事例を参考に広域的な課題として検討したい。実施状況の報告、母性保護についても重要なことと認識している。今後、条例制定に向けて鋭意取り組んでいきたい。

商工

空洞化が進む商店街に対する市長の見解は

答弁 重要課題と位置付け、振興に積極的に取り組む

問

シャッター通りや空き店舗は、商店街の疲弊の代名詞となっている。大型店の進出やコンビニの深夜年中無休営業が商店街を圧迫させ、新たな大型店の建設は死活問題である。この状況をどう認識しているか。

答

商店街の空洞化が進んだ原因は大型店の影響もあるが、社会、経済構造の変化に対応した消費者ニーズの変化や、販売形態の多様化など複合的な影響と考える。そこで、商店街の振興のためには、現在の消費者ニーズに

問

合わせた魅力あるものにしていく必要があるが、商店街自身の主体的かつ積極的な取り組みが不可欠である。本市では、商工業団体が実施する活性化事業に対する支援や、各種融資制度に対する助成制度の充実を図ってきた。また、今年度より新たに空き店舗の活用に対する助成制度を創設、宇治橋通りでは京都府と連携を図りながらコミュニティ道路の整備に向けて取り組みを進めている。今後とも、商店街振興を重要課題と位置付け、積極的に取り組んでいきたい。

答

合わせた魅力あるものにしていく必要があるが、商店街自身の主体的かつ積極的な取り組みが不可欠である。本市では、商工業団体が実施する活性化事業に対する支援や、各種融資制度に対する助成制度の充実を図ってきた。また、今年度より新たに空き店舗の活用に対する助成制度を創設、宇治橋通りでは京都府と連携を図りながらコミュニティ道路の整備に向けて取り組みを進めている。今後とも、商店街振興を重要課題と位置付け、積極的に取り組んでいきたい。

観光行政について

答弁 宇治の魅力在全国に発信していきたい

観光

問

今秋発行の新一万円札に平等院の鳳凰像が描かれる予定である。十円硬貨、二千円札に続き、宇治にちなんだお金が三種揃うことになるが、新一万円札発行記念事業の進捗状況及びこれまでの経過は。

答

昨年京滋バイパスが名神高速道路と結ばれたことから、山陽、東海エリアでの高速道路サービスエリアや鉄道駅での観光キャンペーンを行い、広く観光客の誘致を進めたところである。本市観光の基本方針として、メディアの活用と展開、パッケージ化と周遊の促進、観光都市の基盤整備、観光タイアップの強化を四つの柱として観光振興を図っている。新一万円札の発行事業については、観光に関する情報発信の仕掛けや工夫、宇治の活性化にもつながるように留意しながら進めていきたい。現在、事業をより効果的なものにするため、行政だけではなく、観光協会や商工会議所等とも知恵を出し合いながら、宇治の魅力を全国に発信できるよう協議を進めている。

交通安全

交通事故を減少させる対策について

答弁 ライト点灯府民運動など積極的に取り組む

問

市内の交通事故の実態を見ると、毎年増加傾向にある。市民の生命、安全を守る行政の任務として、交通事故を減少させる方法について、ソフト面、ハード面で市はどのような対策を講じているのか。

答

ソフト面については、宇治市交通安全対策協議会において、JR宇治駅前での街頭啓発をはじめ、市役所前でのシートベルト・チャイルドシート着用の街頭啓発を行っている。今年新たに自転車利用者のマナー向上と交

問

通事故防止の徹底を図るため、薄暮時に交通事故が多いことから、早めのライト点灯府民運動の実施や、迷惑駐車をなくそう府民運動の実施など各種運動を展開している。またハード面では第四次総合計画に基づき、幹線道路の歩車道の分離や横断歩道の設置により安全対策を講じるとともに、生活道路については通過交通の排除とスピードを抑制するよう道路整備及び道路反射鏡や路面等に注意を促す表示・標識、防護策の設置に努めている。

答

通事故防止の徹底を図るため、薄暮時に交通事故が多いことから、早めのライト点灯府民運動の実施や、迷惑駐車をなくそう府民運動の実施など各種運動を展開している。またハード面では第四次総合計画に基づき、幹線道路の歩車道の分離や横断歩道の設置により安全対策を講じるとともに、生活道路については通過交通の排除とスピードを抑制するよう道路整備及び道路反射鏡や路面等に注意を促す表示・標識、防護策の設置に努めている。

世界文化遺産の景観を守るについて

答弁 事業者に対し条例の趣旨を踏まえて指導する

景観

問

平等院の借景問題に端を発し、都市景観条例が制定されたが宇治橋通りに新しいマンション建設の計画がある。世界遺産を台無しにしないため、歯止めの方法があるのか、また市はどのような姿勢で臨むのか。

答

本市は世界遺産を含む歴史的建造物と宇治川を中心とする自然景観に恵まれた美しい都市であり、この美しさを継承し、創造していくことを目的として景観条例が制定されたが、この条例をどのような形で運用していくかが重要である。条例では、市民及び事業者の責務を明記しており、それぞれの立場から積極的に都市景観の形成に寄与するよう努めなければならないとしている。事業者に対し、この条例の理念を十分に伝えるとともに、近隣の住民及び市民すべての意見を踏まえて指導していくことが市に課せられた責務である。あくまでも条例は指導、助言の域は出ないものの、この美しい都市を守るために、事業者に対して十分にその意を尽くしていきたい。